

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立吉舎中学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 「本の世界をひろげよう ～本のメッセージをつくろう～」
- ④ 単元の目標 本のメッセージカードをつくるという課題に沿って本を読み直し、必要に応じて本の内容を引用することを通して、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。
- ⑤ 単元の指導計画 (全6時間)

次	学習内容(時数)	評価の観点					評価方法
		関	書	読	言	評価規準	
一	・「読書」の学習に対して興味や関心をもつ。 ● 学習のゴールの確認 (本のメッセージコンクールへの応募) ● 教科書の読書教材を使ってアニメーションを行う。(1)	◎				本を楽しむことを積極的に取り組もうとしている。	行動観察
二	・分かりやすいメッセージ作りのための工夫を学習し、自分の作品の構想をたてる。 ● ポップや昨年度の作品から工夫を考える。 ● 推薦したい本を引用するため、要約したい箇所に付箋を貼りながら読み直す。(1)			◎		昨年度の作品を見ることから、作成のポイント(レイアウトや表現の工夫)を見出している。推薦するために付箋やメモを活用して、カード作成のための情報を選んでいる。	行動観察 ワークシート 行動観察
	・「本のメッセージ」のレイアウトや構成を考えワークシートにまとめる。(1)		◎		○	分かりやすく書くための工夫を自分の作品にいかしている。 主語・述語など文の成分に注意して、文を書いている。	行動観察 ワークシート
三	・ワークシートをもとに本のメッセージを作成する。(2)	◎				学習したことを自分の作品に生かそうとしている。	行動観察
四	・できた作品を鑑賞し合い評価する。(1)	○				お互いの作品をみることを通して、自分の読書の本の幅を広げようとしている。	行動観察 ワークシート

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

- 目的をもって本や文章を読むことができる。
- 図などを用いて伝えたいことをわかりやすく表すことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 視覚的資料を用いて必要な情報を取り入れる。
- 共通事項で分析する。